

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	38	馴れ馴れしい声掛け、話し方、呼び方、上から目線の物言い、口調の荒さが目立つ 自覚はあるが、変えようとはしない	誰が目にしても、耳にしても安心できる気持ちの良い環境にしていく	自分自身の言葉遣いを見直す 相手の立場、家族の立場になって考える (相手のことを意識して行動に移す) 職員同士で注意し合える環境を作る	12 か月	
2	37	施設内(入居者、職員のみ)での訓練しかできておらず、いざという時に周囲に頼ることができるか不安である	これから少しずつ交流を増やしていき、地域との関係を築いていく	外で会った時や、入居者と散歩に出た時などに、近所の方と会ったときはきちんと挨拶をする 施設内の行事やイベントの際には、ご近所の方々にも可能な範囲で声を掛ける	12 か月	
3	10	事情があって、なかなか面会に来られないご家族やラインで繋がることができているご家族とは電話で連絡を取っているが、他のご家族より連絡頻度が少なく、あまり意見などを聞けていない現状にある	関わる必要のある全てのご家族との関係を良く長く保っていきたい	ラインで繋がる事が出来ていないご家族には今までと変わらず毎月手紙を書き、日々の様子や写真を送り、やりとりを続けていく 気軽にこまめに連絡が取られる環境を作る	6 か月	
4	51	コロナ禍で思うように面会や外出外泊ができず「寂しい」「少しでも帰りたい」等の声が多く聞かれていた	ご家族にも働きかけ、入居者の「楽しい」「嬉しい」時間を増やしていく	天気や天候を見て、行事やイベントを増やし適度に散歩やドライブなどを実施していく ご家族と連絡、連携し、短時間でもご家族との外出や外泊ができるよう一緒に考えていく	12 か月	
5	54	入居者の状況なども重なり、以前のような飾り付けができない時期があり、室内が暗く、寂しくなっていた	入居者との手のリハビリも兼ねて明るい室内にしていきたい	季節に合わせた飾りをみんなで考える 日々の入居者との会話の中で、得意なことややりたいこと、できることを引き出し、取り入れながら一緒に作品を作っていく	6 か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入して下さい。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。